

平成 17 年 3 月修了
修士学位論文

改良型プロダクト・ライフサイクル によるマーケティング

Marketing Model
using modified Product Life Cycle Method

平成 17 年 3 月 22 日

高知工科大学大学院 工学研究科基盤工学専攻 起業家コース

学籍番号 1075067

堀部幸祐

Kousuke HORIBE

内容梗概

今日、インターネットの普及を後押しするような格好でブロードバンド環境に普及が進んでいる。そしてこれらの環境の中で新たなコンテンツ流通市場が形成されようとしている。我が国の産業の一翼を担う有望成長分野として期待されているこの新たな市場での成功の鍵を握っているのは、優良なコンテンツの獲得に加えて、いかに安全に、安定した品質でこれらを流通させられるかという技術的な問題の解決であり、各家庭に十分な機能を持った端末を普及させるためのマーケティングである。そこで本研究では、技術的な動向を探ると共に、デジタルコンテンツの配信事業を念頭においたマーケティング手法を研究し、当社にとって有効なビジネスモデルを構築することを目的とする。

本研究では、先ず、第1章で研究の背景、目的、意義、及び研究手法を示した後、第2章「電子署名」においてコンテンツの不正利用を防止するもうひとつの方法であり、当社が特許取得した電子透かし利用した技術を掘り下げてゆく。「電子透かし技術の動向」にて現在の技術動向を概観した後、「透かし埋め込み技術」にてその技術全般についてとりあげ、「透かしの応用技術」では電子透かしとデジタルコンテンツ配信との関係をとりあげる。次に、第3章にて安定した品質を確保する方法として当研究所の技術基盤となっている「JPEG2000」をとりあげる。デジタルコンテンツ配信との連携を探るべく、「符号化のトリートリーとフレーム間相関」、「ハードウェア面と量産可能性」、及び、「動画像と無線」という観点で研究を行う。次に、第4章においてデジタルコンテンツ配信における「技術とマーケティング」をテーマに、「ブロードバンド」において現在の通信環境を、「デジタルコンテンツ流通におけるDRMシステム」においてコンテンツの不正利用を防止するひとつの方式としてデジタル著作権管理(DRM)の問題をとりあげ、「ファーストセール」において配信されたコンテンツの所有権問題についてとりあげる。次に、第5章「プロダクト・ライフサイクルの改良」において従来のマーケティング手法を基礎におきつつ、改良手法の提案を行う。「プロダクト・ライフサイクル」において従来手法を述べ、「改良版プロダクト・ライフサイクル」として新たなマーケティング手法を提案し、「改良型プロダクト・ライフサイクルのOpenPDMへの当てはめ」として、事例をとりあげ、提案する新手法の検証を行う。次に、第6章「技術戦略分析」として、「アーリー・アダプターの分析」、「STAR」の分析をとりあげ、「ホール・プロダクトのIT Asset Managerへの当てはめ」として、プロダクト・ライフサイクルにおけるホール・プロダクトの有用性を事例によって検証する。そして、最後に、第7章において結論を述べる。

本研究により、当社における当該事業の設立に寄与するべく努めると共に、ひいては我が国のデジタルコンテンツ配信事業の発展に貢献するべく勤める。